

## 「放水はあまりにも突然だった」 ダムに亀裂という報告でパンガシナン州の住民はパニックに

2009年10月10日 23:55:00

フィリピン・デイリー・インクワイラー紙

Gabriel Cardinoza, Amy R. Remo 署名記事

パンガシナン州リングエン市発 Marlyn Primicias Agabas パンガシナン州副知事によれば、木曜のサンロケダムからの放水は「あまりにも突然」だった。

「計画があるべき」と彼女は述べ、「ダム当局者は開門を決定する前に、危険水位に達するのを待つべきではなかった。」と付け加えた。

それより以前に、Agabas 副知事は、サン・マニエル町にあるダムが木曜に6つの洪水吐きゲートを全て開門するという報せを受け、心配になった。

Agabas 副知事は、彼女の出身地であるサン・ニコラス町やその他のパンガシナン州のアグノ川沿いの町が放水によって水浸しになるだろうと確信した。さらに、9月26日にマニラ首都圏を襲った大規模な洪水の映像が彼女の頭に浮かび、彼女は余計に心配になった。

パンガシナン州の主要河川系であるアグノ川は、コルディレラ地方から流れ込み、リングエン湾に流れ出るまで、サン・マニエル町から（州都である）リングエン市までの17つの町を横断する。

マニラでは、Gilbert Teodoro 防衛長官が、「サンロケダムの当局者らは、木曜に大量の放水を決定したことについて、市民に説明すべきだ」と述べた。

「水量が十分だったかはわからない。そうした質問にも答えてもらいたい。市民が何が起こったのかを理解できるよう、そうした質問に対する明確な説明を市民にしてもらいたい。」と Teodoro 防衛長官はフィリピン・デイリー・インクワイラー紙に対し述べた。

「彼らはすでに説明しようとしていると思うが、我々が救援活動を終えた後、時機がきた際には、彼らは適切な公開討論の場で説明すべきだ。」と彼は述べた。

ダム当局者らの責任の可能性について質問されると、Teodoro 防衛長官は、「それは専門的な質問なので、私が（それについて）述べることは一切できない。恐らく、彼らがそうしなかったら、ダムは破壊していただろう。しかし、現時点では、私は何も言えないし、（そうしたことを）私は知りたい。」と述べた。

Agabas 副知事はただちに、アグノ川沿いの村々の関係者らに放水の報せを伝えた。州庁舎では、Amado Espino Jr.州知事が川の土手の住民に避難勧告を出した。

2,500 立方メートル毎秒（cms）の割合で放水し、後に夜になってから 5,072cms を放水したが、ダムの余剰水は蟻塚（多くの人が暮らす場所）に注がれたコップ一杯の水のように、全員を死ぬまいと走り回らせた。

結果として、木曜、多くの子供や老人を含む、何千人もの住民が、豪雨が降りしきる中、彼らの屋根の上で一夜を明かした。

金曜の朝、パンガシナン州の東部と中部を合わせ、30の町が浸水していた。洪水は、州のその他の河川系の水位上昇により、さらに悪化した。

### 影響を受けた町々

サンロケダムは、サン・マニユエル、サン・ニコラス、タユグ、サンタ・マリア、アシンガン、ピラシス、アルカラ、パウティスタ、ロサレス、バヤンバンを含む、パンガシナン州のかなりの地域に影響を及ぼす。

しかし、フィリピン電力公社（NPC）によれば、ダムの放水はダムの構造を完全かつ安定的な状態に保つため、また、激しい洪水から低地のコミュニティーを守るために必要である。

NPC は、「ダムの放水はルソン島北部の洪水にいくぶんかは寄与したかもしれないが、大規模な洪水を引き起こしたのは、主として、異常な降水量だ。」と述べた。

ダムの放水に先立ち、厳密な計画に従っている、と NPC は主張した。

「計画には、放水予定の数時間前に、関連自治体およびコミュニティーへ警告や通知を普及することなどが含まれている。」と NPC は述べた。

2004年8月、台風「マルセ」による豪雨のため、サンロケダムは2つの洪水吐きゲートを0.5メートルずつ開門した。

2007年11月、ダムは台風「クイーニー」に襲われ、2つのゲートを0.25メートルずつ開門した。

その両日には、ダムの水位は海拔280メートルの危険水位にやっと達する程だった。

### パニックに陥った人々

洪水に加え、さらにひどい惨状を生み出したのは、台風「ベペン」(台風17号)の襲来により、サンロケダムに亀裂が入った、あるいは、サンロケダムが壊れたという噂が、パンガシナン州の住民の間に大パニックを引き起こしたことだった。

しかし、サンロケパワー社（SRPC）のトミー・バルデス副社長は昨日、電話インタビューの中で、「それはあり得ないことだ。ダムは頑丈で良好な状態だ。」と述べた。

フィリピン国家災害調整局（NDCC）もまた、SRPC の言葉を引用し、ダムは「影響をうけておらず、亀裂もない」と述べた。

「ダムは頑丈で安定している。ダムに亀裂は入らない。」と、昨日正午の状況レポートの中で、NDCC は述べた。

それにもかかわらず、バルデス SRPC 副社長は、ベンゲット州のアンブクラオダムとピンガダムからの余剰水が継続的に流れ込んできているので、サンロケダムはまだ放水をしなくてはならない。」と述べた。

## 6つのゲート中3つは閉門

「2つのダムからの大量の流水が依然としてあり、また、潜在的な降雨をモニタリングしているため、放水をいつ止めることができるか、まだわからない。」と彼は述べた。

「昨日の午後の時点で、サンロケダムはアンブクラオダムとピンガダムから 1200 立方 cms の水を依然として受けている。」と、バルデス SRPC 副社長は報告した。

「良い報せは、ダムの6つのゲートのうち、3つはすでに閉門したということだ。」と彼は述べた。

「台風ペベンの絶頂期に 5,000cms 以上を放水していた時に比べ、これらの3つのゲートは 700cms の割合で放水中である。ダムの水位は、昨日の時点で、海拔約 288.6 メートルある。」とバルデス SRPC 副社長は述べた。

しかし、ルソン島北部の豪雨により、アンブクラオダムとピンガダムに記録的な水量が流れ込み、アグノ川に溢れ出る結果となった、と SN Aboitiz Power (SNAP) -Benguet 社は述べた。

SNAP 社は声明文の中で、「ダムへの損害は報告されていないが、周囲のコミュニティでは家屋や構造物に激しい影響を受けたものもある。」と述べた。

SNAP 社は、救援活動を開始した、と述べた。

SNAP-Benguet 社は、アンブクラオダムとピンガダムにある水力発電所の所有者である。

## 洪水制御部門

サンロケダムは水曜、海拔 286.7 メートルにまで水位が達した時点で、余剰水を流し始めた。(ダムの最高水位は海拔 290 メートル。)

Espino 州知事は、「ダム当局者らが自分に全ての洪水吐きゲートを開門すると伝えた時、大規模な洪水が起こるだろうと確信した。」と述べた。

「だから、私はただちに住民に避難勧告を出した。私はパンガシナン州東部の町々に準備をするようにと伝えにさえ行った。」と彼は述べた。

「ダム当局者らが自分に、アグノ川は放流する水を吸収できるだろう、と言った時、自分は驚いた。」と Espino 州知事は述べた。

「なぜ彼らはそんなことを言う必要があったのか。」と彼は述べた。

バルデス SRPC 副社長は、「ダムの水位を 280 メートルという『通常の高水位』以上に保つことによって、自分の会社はダムの能力を最大限にしようとしている。」と述べた。

「あなた方が見ているのは、ダムの洪水制御部門が機能しているかだ。」と彼は述べた。

バルデス SRPC 副社長は、「ダム当局者らはダムの水の流出量と流入量のバランスをただ取るうとしていただけで、突然の放水はなかった。」と述べた。

「その時の台風ペンの不規則な動きを予測することは非常に難しいことだった。」と彼は付け加えた。

「私達の降雨計は降雨量の変動を記録していた。だから、上流のダムからの放水でさえ変動していた。」

Agabas 副州知事は、「パンガシナン州東部の町の住民は、1992 年、洪水の危険性の可能性を指摘し、ダムの建設に反対した。」と述べた。

「しかし、私達は後に、ダムの灌漑部門によりパンガシナン州とタルラック州の何千人もの農民が利益を受けると事業者が言い、建設を容認するよう説得された。」と Agabas 副州知事は述べた。

「あいにく、2003 年に（発電の）操業が開始されて 6 年経つが、ダムの灌漑部門はいまだにない。」と彼女は述べた。

## 重要なインフラが崩壊

Teodoro 防衛長官は、「ダムが余剰水を吐き出した時にパンガシナン州を一掃した強い流れで、パンガシナン州の内陸部に入る経路であるブエドゥ橋など、重要なインフラが破壊された。」という報告を引用した。

「それを好もうと好まざるとも、彼らは、情報目的の主要な情報網や主要なラジオを通じて、より直接的に連絡を取り合うべきだった。また、それは彼らの責任だ。彼らは多くの人命が影響を受けると知っている時に、私達にただ通知をするということではできない。」と彼は述べた。

## 鉱山活動

左派系団体バヤン（新民族主義同盟）はまた、ベンゲット州の大規模鉱山活動が台風ペンの影響を悪化させた可能性があるとし、それらを調査するようアロヨ政権に要請した。

「ベンゲット州は 1 世紀にわたり大規模鉱山のホスト役を務めてきたが、命取りになる土砂崩れの歴史を持つ。それは特に台風時に脆弱さを見せる。」と、バヤンは声明文で述べた。

「救助と救援活動が終わったら、アロヨ政権は土砂崩れと洪水の原因を調査する政治的意思を持つべきだ。」とバヤンは述べた。